



東谷山通信



鹿児島市立東谷山小学校 全校児童845人 〒891-0112鹿児島市魚見町124-1
<Tel>099-268-5141 <Fax>268-5142 <Mail>s61-hitani@keinet.com

AIと共に生きる子供たちに

校長 林 耕 二

新しい年を迎え、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。冬の澄んだ空気の中、校庭を駆け回る姿や、学習に真剣に取り組む表情を見ると、とても頼もしく感じます。

本校では、2学期までの学びの積み重ねを大切にしつつ、3学期は「しめくくり」と「次への準備」の時期として位置づけています。1年間の成長を振り返るとともに、「できるようになったこと」をしっかりと自分の力として認め、さらに「挑戦したこと」を見つける期間です。

また、1月は寒さが厳しく体調を崩しやすい季節でもあります。学校でも換気や手洗いなどの予防を徹底しておりますが、ご家庭でも早寝・早起き・朝ごはんを基本に、健康な生活リズムづくりにご協力をお願いいたします。

今年度も残り2か月となりました。6年生にとっては、東谷山小学校で過ごす最後の学期となります。最高学年として下級生をリードする姿には、日々大きな成長を感じています。各学年の子どもたちも、それぞれの目標に向かって全力で頑張っています。

保護者・地域の皆様には、いつも温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後とも、子どもたちの健やかな成長のため、学校と家庭、地域が力を合わせて歩んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

実はこの文章は、**生成AIに作ってもらった文章**です。「東谷山小学校」「学校だより」「1月末発行」と入力しただけで、あっという間にこの文章が出来上がってきました。いかがでしょう？何か違和感がありますか？私が思っていること、お伝えしたいことを見事に表してくれています。正直驚きました。さらに驚くことに、「もっと詳しく」や「もっと感動的に」などのリクエストに対しても、何の文句も言わずに想像以上に応えてくれます。AI技術の急速な進化に驚くとともに、いったいこれまで文章を書くのに費やしていた時間は何だったんだろうと後悔してしまいます。

今の時代は、若者を中心に多くの方が仕事やプライベートでAIを活用し、**効率的で豊かな生活**を送ることに役立っていると聞きます。先日行われた大学入学共通テストをチャットGPTに解かせたところ、**97%の正答率**だったそうです。しかも、この2～3年で正答率が格段に伸びているそうです。莫大なデータを瞬時に解析し、利用者に必要なデータを必要な形で提供してくれるので、これからの時代に欠かせない「道具」なのは間違いがありません。学校でも調べ学習などで活用しており、今後さらに使用頻度が高まっていくことでしょう。

一方で、「前例のない状況」や「感情的な機微」を読み取る力は弱いなどの弱点も指摘されています。また、学習したデータが偏っていると間違った判断をしてしまったり、「なぜその答えになったのか」が分かりづらい場合があったりするようです。そして何より、AIに頼りすぎてばかりいると、**自分で考える力や人とのコミュニケーション**など、最も大事な力が育ちにくくなることも懸念されています。

AIは「万能」ではありませんが、正しく使えば人間の可能性を大きく伸ばしてくれます。大切なことは、人間の判断や考える力を中心に据えて、AIを「なくても学べるけれど、使えばもっと便利になる道具」として活用していくことです。これからの情報社会の中で生きていく子供たちには、AIが出す答えをそのまま鵜呑みにせず、「本当に正しいのだろうか？」「自分はどうか考えるだろうか？」と、**主体的に判断する能力**を育てていきたいと思えます。子供たちがよりよく、より豊かに生きていけるように、AIのよい点を生かしつつ、子供たちの思考力・判断力・表現力を伸ばす教育を進めてまいります。ご家庭でも、AIやフェイクニュース等の話題が出た際には、ぜひ親子で「自分はどうか考えるか」「どう判断すればよいか」話し合っただけならば幸いです。

今年も子供たちが元気に、自分らしく成長できますように、ご家庭・地域と連携を図ってまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

3学期がよいよスタートしました

1月8日(木)に、3学期の始業式を行いました。1年生■■■■さんと4年生の■■■■さんが児童代表として3学期の目標を発表してくれました。

■■■■さん…「鍵盤ハーモニカできらきら星が弾けるようになり、音楽集会に向けて練習を頑張っています。繰り返しの気をつけ、なわとび大会では二重跳びをがんばりたいです。」

■■■■さん…「2学期は、ヒガタニRUN!に向けての練習をがんばりました。去年よりタイムが良くなったので良かったです。音楽集会では、学年全体で場面合ったセリフや歌ができてよかったです。3学期は、なわとびの練習をがんばりたいです。」

話を聞いている子供たちも、新しい気持ちで頑張ろうとやる気に満ちあふれているようでした。3学期は1年間のまとめと進級・進学準備の学期です。一日一日を大切に、仲間と共に楽しく学び合い、自分の力を一杯伸ばしていってほしいです。

書き初め ~字と心を整えて~



本年度は、書写の時間に各学年で書き初めを行いました。子供たちは気持ちを引き締めて、真剣に取り組みました。

1・2年生は硬筆で、お手本をよく見ながらゆっくり丁寧に書いていきました。3年生以上は毛筆で、書き初め用画仙紙(条幅用紙)にひらがなと漢字の文字のバランスやとめ・はね・はらいに気を付けながらのびやかに書いていきました。

どの子も良い作品に仕上げようとお手本を見ながら心を込めて筆を運ぶ姿が見られました。

たこあげ大会

1月17日(土)に校区あいご会主催のたこあげ大会が本校の校庭で行われました。天気は晴れで、それぞれ工夫を凝らしたたこが空に舞っていきました。

どのたこも色や形、文字や絵などアイデアに溢れていて素晴らしいかったです。親子で風とのタイミングを合わせたり、糸を引っ張る強さを考えたりしながら高く上げることに一生懸命な姿が見られ、とてもほほえましかったです。数十メートルも高くあがって気持ちよさそうに飛び続けているたこもありました。たくさんの笑顔が見られたたこあげ大会でした。

昔遊び



1月23日(金)に、1年生が生活科の学習で昔遊びを体育館で行いました。民生委員や児童クラブ支援員など、学校ボランティアの15名の方々にご協力いただき、けん玉、ヨーヨー、あやとり、だるま落とし、おはじき、お手玉などの遊びを体験しました。子供たちにとっては初めての遊びもあったようで、目を輝かせながら説明を聞き夢中になって遊んでいました。成功したときには嬉しそうに友達に教えてあげる姿も見られました。学校ボランティアの方々や触れ合いながら、昔から伝わる遊びを存分に楽しんだことは、1年生の子供たちにとって貴重な体験になったようです。

福祉体験(4年生)



1月14日(水)・15日(木)の2日間、市社会福祉協議会の方をお招きして4年生が福祉体験を行いました。白杖体験では、視力の弱い方を介助する想定で行先の指示を出したり、椅子に座らせたりする活動をしました。車いす体験では、段差に見立てたマットを押して通る体験を行いました。高齢者体験では、視力や筋力が制限された装具を付けて歩行する体験をしました。様々な活動を通して、相手の立場に立って介助することや安全に気を付けることなど、たくさんのことを学んでいました。

【児童の感想から】体が不自由な人はつらい経験をしているんだということが分かりました。体が不自由な人が使う道具を教えてくださいありがとうございました。

おめでとう!

かわなべ青の俳句 入選 3年 ■■■■
 県陸上記録会 第3位 5年 ■■■■
 JA共済作品コンクール KYT 鹿児島読売テレビ賞 3年 ■■■■
 金賞(条幅) 6年 ■■■■ (半紙) 1年 ■■■■
 海音寺潮五郎記念読書感想文コンクール
 優良賞 4年 ■■■■ 入選 4年 ■■■■
 県児童作文コンクール 市特選 1年 ■■■■
 県吹奏楽アンサンブルコンテスト 銀賞 管打十重奏
 ■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■
 ■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■
 県吹奏楽ソロコンテスト 金賞 6年 ■■■■
 銀賞 6年 ■■■■

【2月の行事予定】

- 4日(水) 全校朝会 人権の話
- 5日(木) 第3回学校保健委員会 PTA 常任委員会
- 9日(月) スタチャレ週間(～15日)
- 10日(火) 中学校特別支援学級体験学習会・保護者会
- 12日(木) 音楽集会
- 14日(土) 土曜授業 なわとび大会(2校時6年・3校時5年)
- 20日(金) 新1年生体験入学・保護者説明会
- 24日(火) 第4回学校運営協議会
- 26日(木) 授業参観・学級PTA(下学年・特支)
- 27日(金) 授業参観・学級PTA(上学年・特支)
なわとび大会(3校時4年)

【3月の行事予定】

- 5日(木) 6年生を送る会
- 6日(金) いじめについて考える日
- 10日(火)～12日(木) 特別校時5時間授業
- 14日(土) 土曜授業日
- 〃 縄跳び大会(1校時3年・2校時2年・3校時1年)
- 16日(月) 卒業式会場作成(5年)
- 17日(火) 卒業式予行練習(5・6年)
- 24日(火) 第57回卒業式
- 25日(水) 修了式 離任式 大掃除 入学式準備(5年)
- 26日(木)～4月7日(火) 春休み